

# 落花生「サヤカ」栽培ごよみ

## ポイント

### I 出芽・苗立ちの安定

適期は種  
欠株は子葉展開期までに追い播きし、  
欠株率は、1割以内に抑えましょう。

### II 初期生育量の確保

出芽と同時に旺盛に生育できるように  
リン酸資材や石灰で土壤改良をしま  
しょう。

### III マルチ除去と総合防除

開花期を迎えたら10日以内にマルチを除  
去し、莢実の過熟を防止しましょう。また、  
中耕培土と病害虫防除を実施しましょう。

### IV 適期収穫

適期収穫の目安は開花期後85日です。収  
穫遅れによる品質の低下が大きいので、  
収穫時期が近づいたら試し掘りをし、過  
熟にならないうちに収穫しましょう。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
上	中	下	上	中	下	上	中	下

標準栽培(マルチ) は種期

開花期

収穫期

#### は種準備

耕起・整地  
土壤改良  
種子選別  
マルチ張り

は種量(10a当たり)  
子実6.5kg 莖実13.0kg

#### は種期

標準栽培(マルチ) 5/上～下旬

#### 追い播き

#### ※開花期の記録

#### 中耕・培土

マルチ除去後、子房柄が伸長を開始する前までに行なう。

#### 病害虫防除

褐斑病／トップジンM水和剤  
ダコニール1000  
黒渋病／トップジンM水和剤  
汚斑病／スミレックス水和剤  
コガネムシ類幼虫／オンコル粒剤5  
フォース粒剤  
白絹病／連作を避けましょう。  
※農業登録は平成28年2月17日現在の情報です。  
※使用に際しては最寄りの普及センター・JAにお問い合わせ下さい。

#### 施肥の目安(10a当たり)

(成分量:kg)

土壤	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O
黒色火山灰	3	10	10
褐色火山灰	3	10	10
沖積	3	8	8

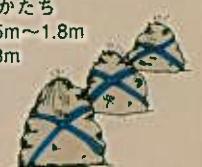
#### 収穫期の目安

9/中～9/下旬  
※(開花期後85日)  
莢を剥いて8割程度の子実  
がうす桃色～桃色になって  
いるか、1割程度の子実の表  
面(しぶ皮)に暗褐色の斑点  
(シミ)が発生している頃。

#### 乾燥

地干し、晴天で7～10日島立てにする。  
莢をふるとコロコロと音がするよう  
なったら野積みする。(子実水分20%)

野積みのかたち  
高さ 1.5m～1.8m  
直径 1.3m



#### 脱莢・調製

脱莢は指で強く押すとわずかに柔み  
を感じる頃(子実水分9%)に行う。

#### ■落花生奨励品種特性表

品種名	来歴または 両親名	奨励品種 採用年度	草型	は種期 (月日)	開花期 (月日)	収穫期 (月日)	最長 分枝長 (cm)	分枝数 (本/株)	莢実数 (莢/株)	莢実重 (kg/10a)	むき実 歩合 (%)	上実 百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)	子 実			病 害			栽培適地	特記事項	
														整否	粒色	色沢	品質	黒渋	褐斑	汚斑		
サヤカ	アズマユタカ ×関東34号	平3	中間型	5.14	6.26	9.19	54.0	40.9	34.8	400	68	96.0	278	整	淡橙褐	良	やや上	無～微	微～少	微	県内全域	収穫遅れにより、品質および食味が大きく 低下する。収穫の目安は開花期後85日。

(注) 1. 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次：平成23年～平成27年の5ヶ年間の平均値

(2) 試験条件：栽培型：マルチ栽培 株距60cm 株間24cm  
上改剤(kg/10a)：消石灰：100、ようりん：150、施肥量(kg/10a)：窒素：3、  
リン酸：12、カリ：12

(3) 試験場所：農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)、刈谷農業試験場(愛知県刈谷市)

茨城県・(公社)茨城県農林振興公社・(一財)全国落花生協会